

2020年3月期 決算説明会

富士フイルム ホールディングス株式会社

2020年5月22日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2020年3月期 決算説明会

FUJIFILM

2020年3月期 業績

■ 2020年3月期 業績

(億円)

	実績	対前年	COVID-19影響
売上高	23,151	-1,164 (-4.8%)	-470 (-1.9%)
営業利益	1,866	-232 (-11.1%)	-260 (-12.3%)
株主帰属当期純利益	1,250	-131 (-9.5%)	-180 (-13.0%)

✓ 2020年3月期業績予想は未達

✓ 配当金は計画通り95円を予定

■ COVID-19に対する当社の取り組み

- ✓ COVID-19治療薬候補「アビガン®錠」
- ✓ PCR検査時間の大幅な短縮を実現する遺伝子検出キットの開発・販売
- ✓ 全自動遺伝子解析装置「ミュータスワコー g1」用遺伝子検出試薬の開発・販売
- ✓ 肺炎診断などに使用する医療診断機器・材料の提供
- ✓ 「COVID-19 Therapeutics Accelerator」より治療薬のプロセス開発・製造を受託

2021年3月期の取り組み

ヘルスケア&
マテリアルズ
ソリューション

ヘルスケア領域・高機能材料領域の事業成長

- ・ COVID-19の感染拡大抑止・流行終息に貢献する製品・サービスの提供
- ・ バイオCDMO事業の顧客ニーズに合った高品質なバイオ医薬品の供給によるビジネス拡大。
- ・ 日立製作所からの買収事業とメディカルシステム事業のシナジー創出
- ・ 半導体生産などへの高機能材料提供やディスプレイ分野での新製品開発

ドキュメント
ソリューション来年度からスタートする「富士フイルム ビジネス イノベーション」として
新たな戦略による成長の加速とさらなる収益力の向上

- ・ 多様な働き方を支援するソリューション・サービスビジネスの拡大
- ・ オンリーワン商品の創出とOEM拡大によるドキュメント事業の進化・発展
- ・ 世界市場を見据えたマーケティング活動のスタート

イメージング
ソリューション

キャッシュカウとして収益性維持

- ・ チェキ、スマホプリント、デジタルカメラで多様な写真の楽しみ方を提案

財務方針

キャッシュ管理の強化・財務の健全性維持

- ・ 成長領域・必要領域への設備投資と開発投資に重点的に資金を投入
- ・ ROICとCCCを経営管理に導入しキャッシュ創出力を強化
- ・ キャッシュフローと負債のバランスを維持し、財務健全性を確保
- ・ 株主還元は、配当性向25%以上を目標とする方針継続、自社株買いは機動的に実施

3

「アビガン[®]錠」に関する当社の取り組み■「アビガン[®]錠」（一般名：ファビピラビル）

- ✓ 国内では抗インフルエンザウイルス薬として製造販売承認を取得（2014年）
- ✓ ウイルスのRNAポリメラーゼを選択的に阻害することでウイルスの増殖を防ぐというメカニズムを有することから、インフルエンザウイルスと同種のRNAウイルスである新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対しても効果を期待。

■当社の取り組み

- ① 日米でCOVID-19患者を対象とした企業治験を実施中
日本：PhⅢ、米国：PhⅡ
- ② 日本を含む、各国からの提供要請に応えるべく、アビガン[®]錠の増産を開始

アビガン[®]錠生産能力

2020年7月：約10万人分 [*] /月（1,200万錠/月）
2020年9月：約30万人分 [*] /月（3,600万錠/月）
段階的に生産能力を向上させる

日本政府や海外からの提供要請に迅速に対応し、
COVID-19の感染拡大抑止や流行の終息に貢献する。

※一般社団法人日本感染症学会の「COVID-19に対する抗ウイルス薬による治療の考え方」に準拠した、「ファビピラビル」の投与方法（1日目1,800 mg/回×2回、2日目以降800 mg/回×2回、最長14日間）をもとに算出。

4

2020年3月期 業績 (2019年4月～2020年3月)

(単位：億円)

	通期				
	2019年3月期	2020年3月期	対2019年3月期	為替影響	対2019年3月期 為替影響除く
売上高	24,315 100.0%	23,151 100.0%	-1,164 -4.8%	-488	-676 -2.8%
営業利益	2,098 8.6%	1,866 8.1%	-232 -11.1%	-132	-100 -4.8%
税金等調整前 当期純利益	2,128 8.8%	1,731 7.5%	-397 -18.7%	-125	-272 -12.8%
当社株主帰属 当期純利益	1,381 5.7%	1,250 5.4%	-131 -9.5%	-86	-45 -3.2%
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	326.81円	306.18円	-20.63円		
為替：米ドル ：ユーロ	111円 128円	109円 121円	2円高 7円高		
				＜その他増減要因（対前年度）＞ 営業利益における 原材料価格影響：+29億円	

5

セグメント別 連結売上高／営業利益

(単位：億円)

売上高	通期		対前年度	為替影響	為替影響除く
	2019年 3月期	2020年 3月期			
ヘルスクエア	4,843	5,041	198 (+4.1%)	-103	301 (+6.2%)
ヘルスクエア&マテリアルズ	10,390	10,242	-148 (-1.4%)	-206	58 (+0.6%)
ドキュメント	10,056	9,583	-473 (-4.7%)	-167	-306 (-3.0%)
イメージング	3,869	3,326	-543 (-14.0%)	-115	-428 (-11.1%)
合計	24,315	23,151	-1,164 (-4.8%)	-488	-676 (-2.8%)

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益	通期		対前年度	為替影響	為替影響除く
	2019年 3月期	2020年 3月期			
ヘルスクエア	333	331	-2 (-0.8%)	-18	16 (+4.6%)
ヘルスクエア&マテリアルズ	976	924	-52 (-5.3%)	-39	-13 (-1.3%)
ドキュメント	964	1,050	86 (+9.0%)	-51	137 (+14.3%)
イメージング	511	251	-260 (-51.0%)	-44	-216 (-42.3%)
全社/連結調整	-353	-359	-6 -	2	-8 -
合計	2,098	1,866	-232 (-11.1%)	-132	-100 (-4.8%)

6

セグメント別 概況

(単位：億円)

■ ヘルスケア&マテリアルズ

売上高	対前年度	営業利益	対前年度
10,242	-148 (-1.4%)	924	-52 (-5.3%)

売上は、COVID-19影響などにより、全体で減収となるも、メディカルシステムやバイオCDMO、再生医療がけん引し、ヘルスケア領域は増収。

営業利益は減益。

＜COVID-19感染拡大による影響＞

- ・メディカルシステムで、肺炎診断のための回診用X線撮影装置などの販売が伸長も、全体では病院への営業活動自粛や商談の遅延が発生
- ・グラフィックシステムで、イベントなどの自粛による印刷需要減

＜事業の状況＞

- ・メディカルシステムでは、医療IT、内視鏡、体外診断などの分野で販売が堅調に推移。
- ・バイオCDMOでは、バイオ医薬品のプロセス開発受託、及び製造受託が好調に推移。
- ・医薬品では、2020年2月より、リポソーム製剤専用の新工場が稼働を開始し、開発・製造受託サービスをスタート。
- ・ディスプレイ材料では、液晶パネルの生産調整などの影響で売上が減少。
- ・電子材料では、フォトリソ周辺材料において半導体市場低迷の影響を受けたが、CMPスラリーなどの販売が引き続き堅調に推移し、全体で増収。
- ・記録メディアは、大容量データストレージ用磁気テープ製品の販売が好調に推移。
- ・グラフィックシステムでは、刷版材料の需要減により売上は減少。

7

セグメント別 概況

(単位：億円)

■ ドキュメントソリューション

売上高	対前年度	営業利益	対前年度
9,583	-473 (-4.7%)	1,050	86 (+9.0%)

売上は、COVID-19影響に加え、欧米向け輸出の減少や中国での販売減少により減収。営業利益は、収益性の改善や構造改革効果により増益。

＜COVID-19感染拡大による影響＞

- ・全体では、COVID-19により営業活動の自粛や商談の延期が売上に影響。
- ・オフィスプロダクト&プリンターにおいて、COVID-19によるオフィス閉鎖などで製品販売が減少。一方で、リモートワークの浸透により、中小規模事業所のネットワークセキュリティ対策を包括的に支援するアウトソーシングサービス「beat」や、全国のセブン-イレブン店頭設置された複合機を利用した「ネットプリント®サービス」の需要が拡大。

＜事業の状況＞

- ・オフィスプロダクト&プリンターでは、欧米向け輸出および中国での販売が減少。国内では、堅牢なセキュリティ環境を実現するカラー複合機のフラッグシップモデル「ApeosPort-VII C」シリーズの販売が第3四半期まで堅調に推移。
- ・プロダクションサービスでは、全体の販売台数が増加。
- ・ソリューション&サービスでは、国内でオフィスIT環境の構築・運用などを一括してサポートするサービスが伸長。

8

セグメント別 概況

■ イメージング ソリューション

(単位：億円)

売上高	対前年度	営業利益	対前年度
3,326	-543 (-14.0%)	251	-260 (-51.0%)

売上は、COVID-19影響などで、インスタントフォトシステム「チェキ」やカラーペーパー、ミラーレスデジタルカメラ「Xシリーズ」などの販売が減少し、減収。
営業利益は減収により減益。

＜COVID-19感染拡大による影響＞

- ・当社グループ中国工場における操業率低下で、一部新製品の発売を延期。
- ・小売店への来客減や休業などにより、インスタントフォトシステム「チェキ」シリーズやミラーレスデジタルカメラ「Xシリーズ」などの販売に影響。

＜事業の状況＞

- ・フォトイメージングでは、カラーペーパーの販売減に加えて、チェキで上期に在庫調整があった影響などで売上が減少。第3四半期のチェキのセルスルーは対前年増加。
- ・電子映像では、市場環境が厳しく、主にエントリーモデルの売上が減少したが、「Xシリーズ」のフラッグシップモデル「FUJIFILM X-Pro3」などの販売は堅調に推移。
- ・光学デバイスでは、主に中国景気減速による車載用など各種産業用レンズの需要減の影響を受けて売上は減少。

9

富士ゼロックスにおける構造改革

(単位：億円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	合計
構造改革費用等 一時費用	700	161	87	948
効果	0	310	181	491

2020年3月期	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期
構造改革費用等 一時費用	41	4	34	8	87
効果	83	38	30	30	181

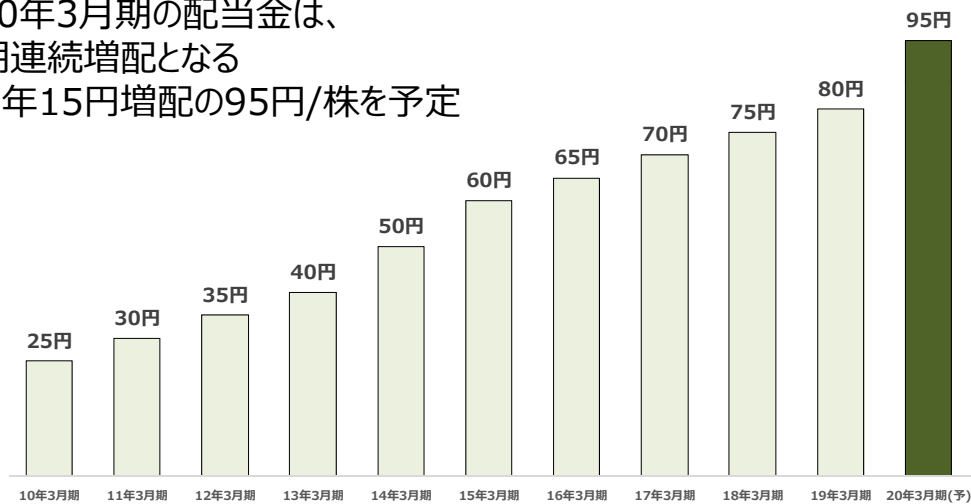
2020年3月期の構造改革は計画通りに実施

10

株主還元

■ 配当金

2020年3月期の配当金は、
10期連続増配となる
対前年15円増配の95円/株を予定



■ 自己株式取得

2020年3月期は516億円の自己株式取得を実施

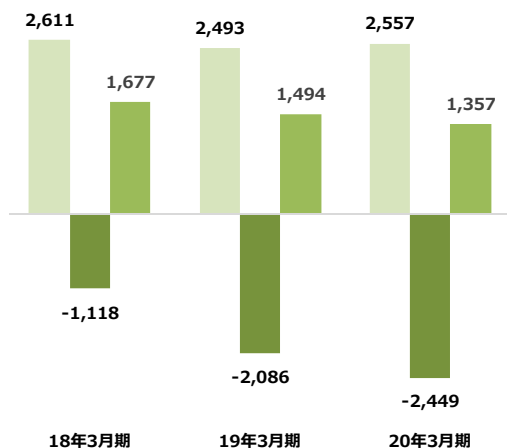
連結貸借対照表

					(単位: 億円)				
	18年 3月期末	19年 3月期末	20年 3月期末	対19年 3月期末		18年 3月期末	19年 3月期末	20年 3月期末	対19年 3月期末
現金 及び現金同等物	7,682	6,547	3,961	-2,586	長短社債 及び借入金	4,542	5,241	6,242	1,001
受取債権	6,191	6,178	5,584	-594	支払債務	2,485	2,384	2,223	-161
棚卸資産	3,613	3,745	3,809	64	その他流動 固定負債	4,915	4,073	4,814	741
その他流動資産	1,122	839	1,538	699	負債計	11,942	11,698	13,279	1,581
流動資産計	18,608	17,309	14,892	-2,417	株主資本計	20,791	20,370	19,533	-837
有形固定資産	5,375	5,268	6,005	737	非支配持分	2,196	2,079	405	-1,674
営業権	5,916	6,555	6,872	317	純資産計	22,987	22,449	19,938	-2,511
その他固定資産	5,030	5,015	5,448	433	負債・純資産 合計	34,929	34,147	33,217	-930
固定資産計	16,321	16,838	18,325	1,487	(単位: 円)				
資産合計	34,929	34,147	33,217	-930	期末日 為替レート	18年 3月期末	19年 3月期末	20年 3月期末	対19年 3月期末
					米ドル	106	111	109	2円高
					ユーロ	131	125	120	5円高

キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー（事業買収等除く）

(単位：億円)



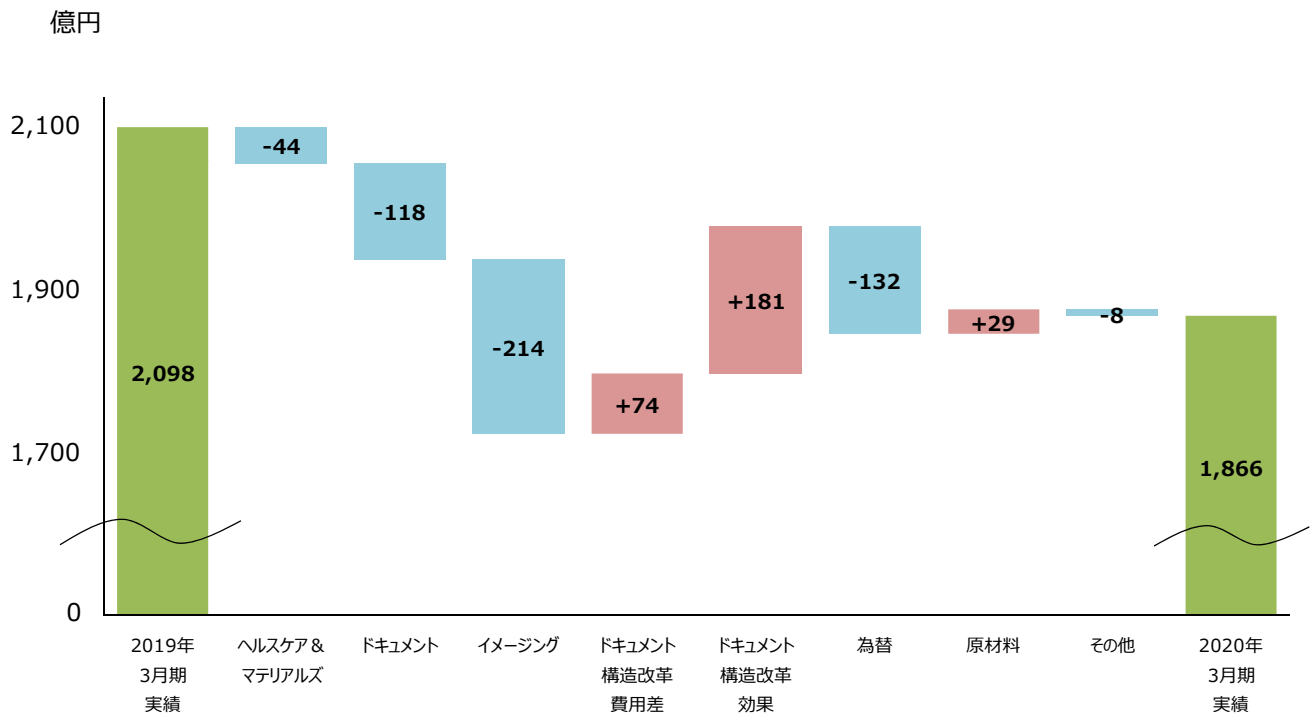
(単位：億円)

	18年3月期	19年3月期	20年3月期
四半期純利益	1,442	1,571	1,383
減価償却費	1,276	1,299	1,227
受取債権の増(-)減(+)	413	49	533
棚卸資産の増(-)減(+)	-75	-123	-115
営業債務の増(+)-減(-)	-200	-125	-106
その他	-245	-178	-365
営業活動によるC F	2,611	2,493	2,557
設備投資	-630	-685	-847
ソフトウェアの購入	-185	-205	-250
投資有価証券の売却・購入等	1,089	-244	-31
事業買収	-1,273	-843	-1,218
その他	-119	-109	-103
投資活動によるC F	-1,118	-2,086	-2,449
フリー・キャッシュ・フロー	1,493	407	108
事業買収等を除くフリー・キャッシュ・フロー*	1,677	1,494	1,357

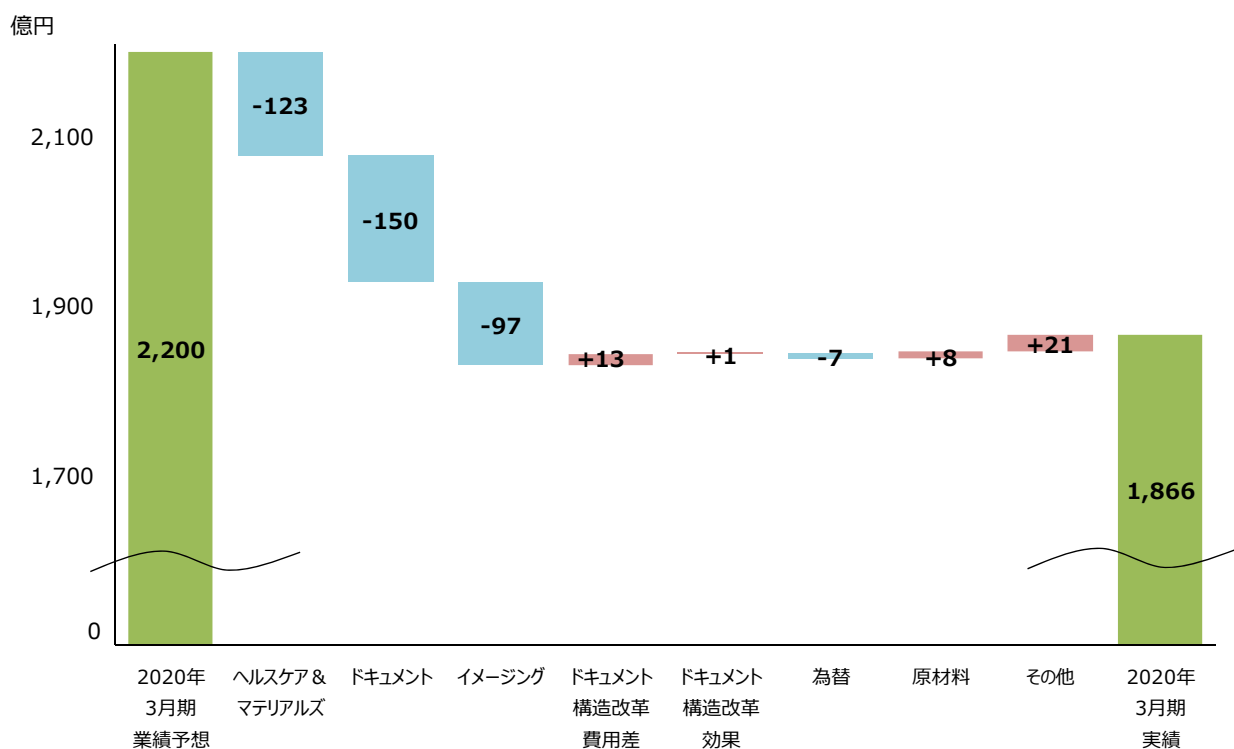
*フリー・キャッシュ・フローから、事業買収および投資有価証券等の売却・購入を控除しています。

13

営業利益増減分析(通期 対前年)



営業利益増減分析(通期 対業績予想)



4Q/通期 業績

(単位：億円)

	4Q			通期		
	2019年3月期	2020年3月期	対2019年3月期	2019年3月期	2020年3月期	対2019年3月期
売上高	6,317 100.0%	5,867 100.0%	-450 -7.1%	24,315 100.0%	23,151 100.0%	-1,164 -4.8%
営業利益	515 8.1%	350 6.0%	-165 -32.1%	2,098 8.6%	1,866 8.1%	-232 -11.1%
税金等調整前 当期純利益	582 9.2%	66 1.1%	-516 -88.8%	2,128 8.8%	1,731 7.5%	-397 -18.7%
当社株主帰属 当期純利益	370 5.9%	43 0.7%	-327 -88.3%	1,381 5.7%	1,250 5.4%	-131 -9.5%
為替 : 米ドル	110円	109円	1円高	111円	109円	2円高
: ユーロ	125円	120円	5円高	128円	121円	7円高

<その他増減要因 (4Q/通期 対前年度) > 営業利益 原材料 : ▲1億円 / +29億円

17

4Q/通期 業績

(単位：億円)

売上高	4Q			通期		
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度
ヘルスケア	1,414	1,533	119 (+8.6%)	4,843	5,041	198 (+4.1%)
ヘルスケア&マテリアルズ	2,801	2,830	29 (+1.0%)	10,390	10,242	-148 (-1.4%)
ドキュメント	2,685	2,372	-313 (-11.6%)	10,056	9,583	-473 (-4.7%)
イメージング	831	665	-166 (-20.0%)	3,869	3,326	-543 (-14.0%)
合計	6,317	5,867	-450 (-7.1%)	24,315	23,151	-1,164 (-4.8%)

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	4Q			通期		
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度
ヘルスケア	159 [11.1%]	131 [8.5%]	-28 (-17.3%)	333 [6.8%]	331 [6.6%]	-2 (-0.8%)
ヘルスケア&マテリアルズ	276 [9.9%]	216 [7.6%]	-60 (-21.7%)	976 [9.4%]	924 [9.0%]	-52 (-5.3%)
ドキュメント	295 [11.0%]	245 [10.3%]	-50 (-16.9%)	964 [9.6%]	1,050 [11.0%]	86 (+9.0%)
イメージング	31 [3.7%]	-23 [-3.5%]	-54 (赤字化)	511 [13.2%]	251 [7.5%]	-260 (-51.0%)
全社/連結調整	-87	-88	-1 -	-353	-359	-6 -
合計	515 [8.1%]	350 [6.0%]	-165 (-32.1%)	2,098 [8.6%]	1,866 [8.1%]	-232 (-11.1%)

18

4Q/通期 業績

ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション

(単位：億円)

売上高	4Q				通期			
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く
ヘルスケア	1,414	1,533	119 (+8.6%)	143 (+10.2%)	4,843	5,041	198 (+4.1%)	301 (+6.2%)
ディスプレイ材料	212	178	-34 (-16.1%)	-34 (-16.1%)	982	855	-127 (-13.0%)	-127 (-13.0%)
産業機材/電子材料 ファインケミカル	454	480	26 (+5.7%)	32 (+7.2%)	1,798	1,779	-19 (-1.0%)	17 (+1.0%)
高機能材料	666	658	-8 (-1.2%)	-2 (-0.2%)	2,780	2,634	-146 (-5.3%)	-110 (-4.0%)
記録メディア	116	95	-21 (-18.2%)	-19 (-16.8%)	388	419	31 (+7.8%)	41 (+10.3%)
グラフィックシステム/インクジェット	603	541	-62 (-10.4%)	-52 (-8.6%)	2,367	2,136	-231 (-9.8%)	-174 (-7.4%)
その他	2	3	1	1	12	12	0	0
合計	2,801	2,830	29 (+1.0%)	71 (+2.5%)	10,390	10,242	-148 (-1.4%)	58 (+0.6%)

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	4Q				通期			
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く
ヘルスケア	159 [11.1%]	131 [8.5%]	-28 (-17.3%)	-28 (-17.3%)	333 [6.8%]	331 [6.6%]	-2 (-0.8%)	16 (+4.6%)
ヘルスケア&マテリアルズ	276 [9.9%]	216 [7.6%]	-60 (-21.7%)	-59 (-21.4%)	976 [9.4%]	924 [9.0%]	-52 (-5.3%)	-13 (-1.3%)

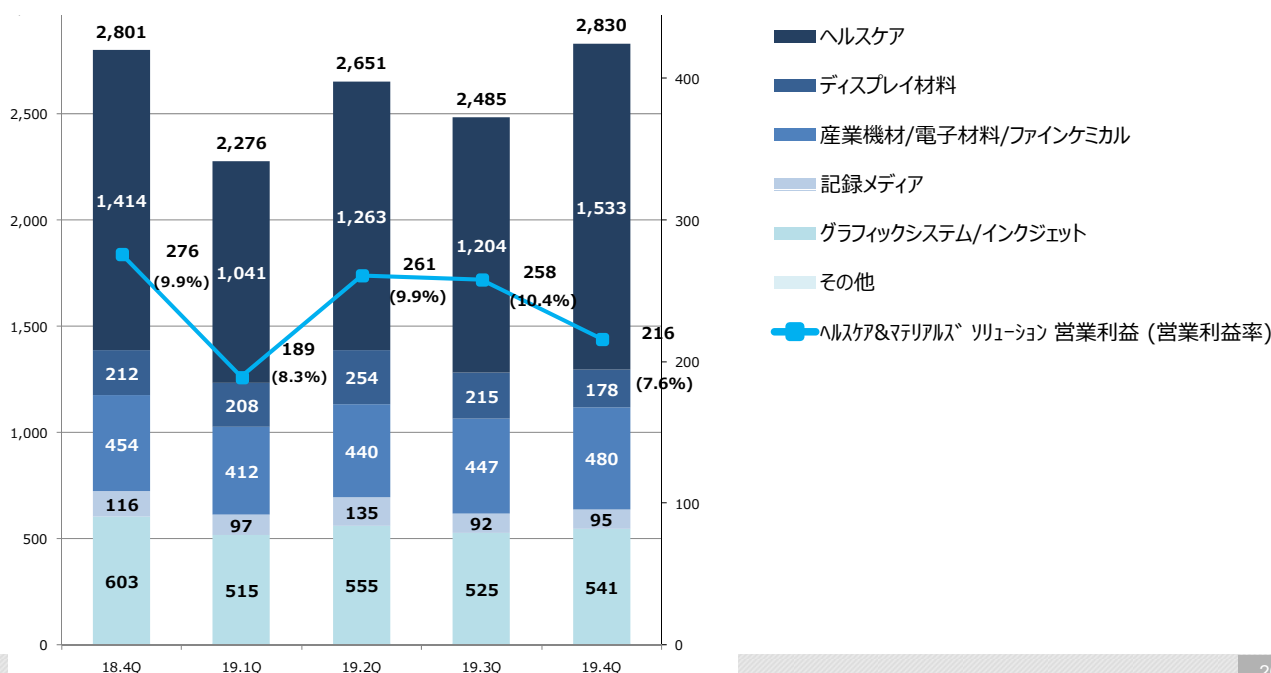
セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション

(単位：億円)

売上高

営業利益



4Q/通期 業績

ドキュメントソリューション

(単位：億円)

売上高	4Q				通期			
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く
オフィスプリンター	323	290	-33 (-10.0%)	-28 (-8.6%)	1,265	1,181	-84 (-6.6%)	-68 (-5.3%)
オフィスプロダクト&プリンター	1,435	1,247	-188 (-13.0%)	-167 (-11.6%)	5,691	5,312	-379 (-6.6%)	-296 (-5.2%)
プロダクションサービス	326	281	-45 (-14.0%)	-40 (-12.3%)	1,233	1,165	-68 (-5.5%)	-44 (-3.6%)
ソリューション&サービス	769	715	-54 (-7.0%)	-43 (-5.6%)	2,612	2,733	121 (+4.7%)	168 (+6.5%)
その他	155	129	-26	-23	520	373	-147	-134
合計	2,685	2,372	-313 (-11.6%)	-273 (-10.1%)	10,056	9,583	-473 (-4.7%)	-306 (-3.0%)

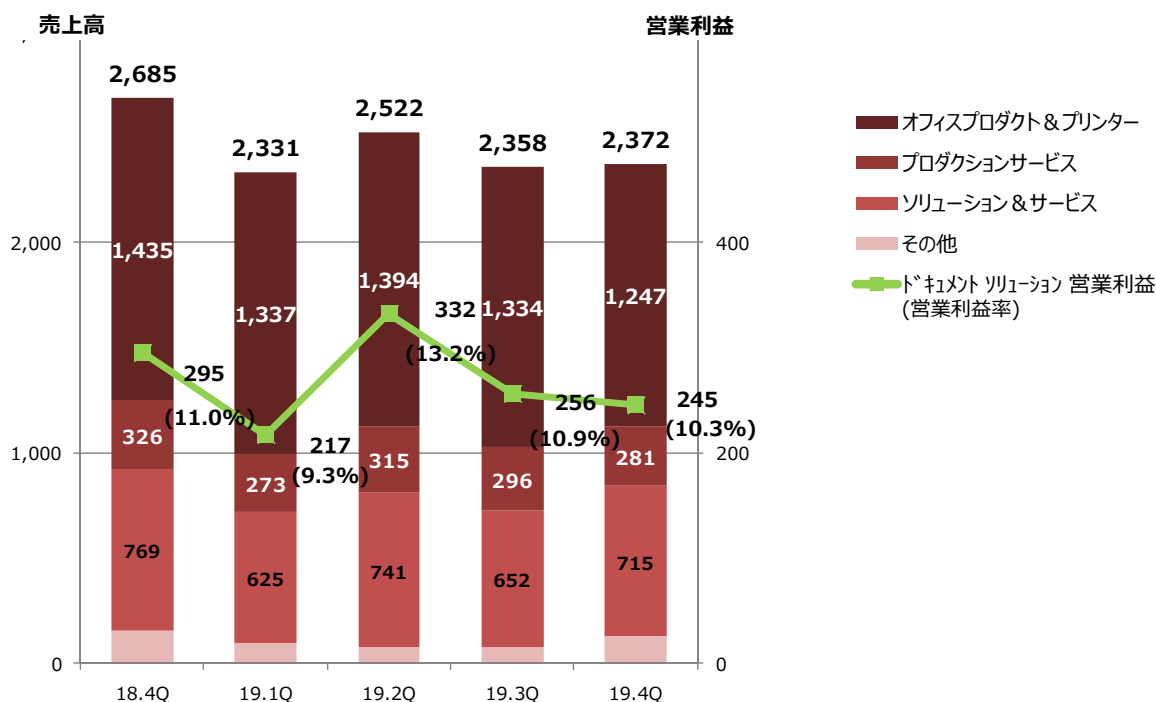
*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	4Q				通期			
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	為替影響除く
ドキュメント	295 [11.0%]	245 [10.3%]	-50 (-16.9%)	-36 (-12.2%)	964 [9.6%]	1,050 [11.0%]	86 (+9.0%)	137 (+14.3%)

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

ドキュメントソリューション (単位：億円)



4Q/通期 業績

イメージングソリューション

(単位：億円)

売上高	4Q				通期			
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度		2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	
				為替影響除く				為替影響除く
フォトイメージング	538	454	-84 (-15.5%)	-72 (-13.4%)	2,575	2,289	-286 (-11.1%)	-210 (-8.2%)
電子映像	199	143	-56 (-28.6%)	-51 (-26.1%)	906	720	-186 (-20.5%)	-155 (-17.1%)
光学デバイス	94	68	-26 (-28.1%)	-25 (-26.8%)	388	317	-71 (-18.3%)	-63 (-16.2%)
光学・電子映像	293	211	-82 (-28.4%)	-76 (-26.3%)	1,294	1,037	-257 (-19.9%)	-218 (-16.9%)
合計	831	665	-166 (-20.0%)	-148 (-18.0%)	3,869	3,326	-543 (-14.0%)	-428 (-11.1%)

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

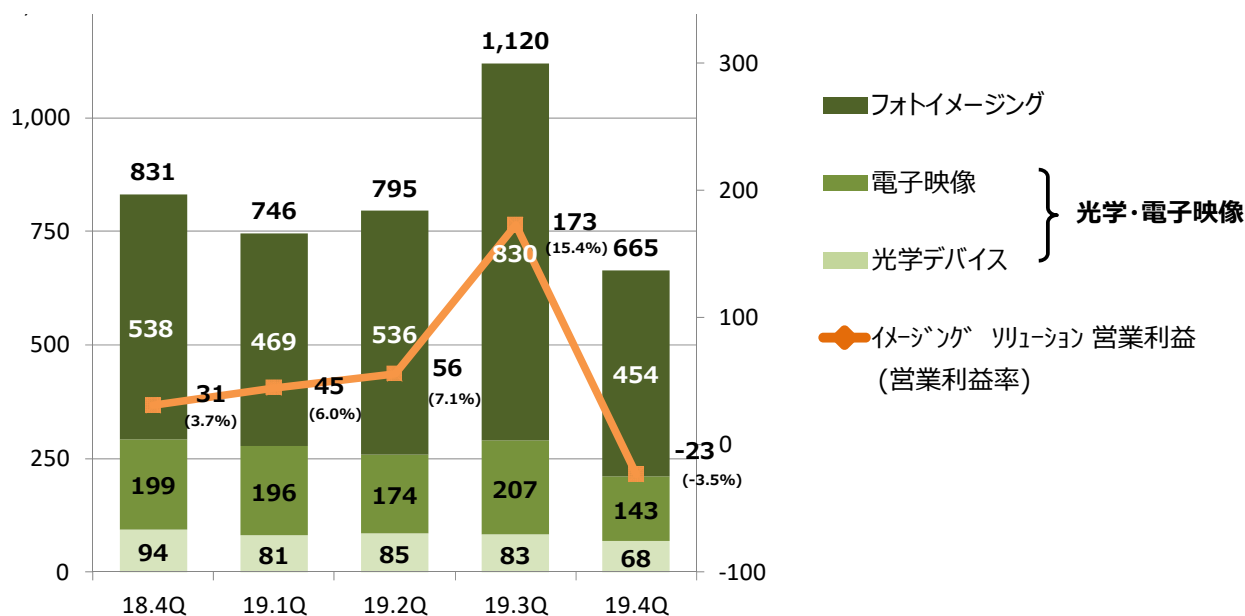
営業利益 [営業利益率]	4Q				通期			
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度		2019年 3月期	2020年 3月期	対前年度	
				為替影響除く				為替影響除く
イメージング	31 [3.7%]	-23 [-3.5%]	-54 (赤字化)	-50 (赤字化)	511 [13.2%]	251 [7.5%]	-260 (-51.0%)	-216 (-42.3%)

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

イメージングソリューション (単位：億円)

売上高

営業利益



国内・海外別連結売上高

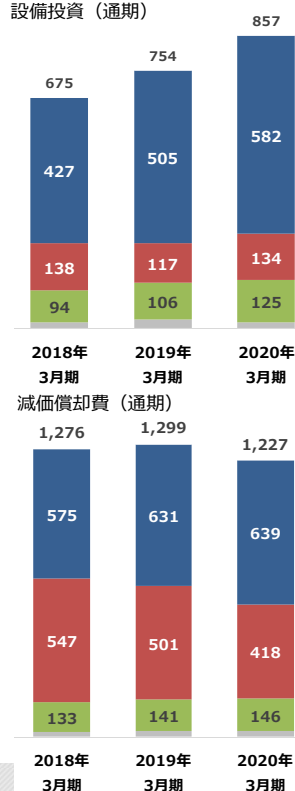
(単位：億円)

	2019年3月期		2020年3月期		対前年度	
	構成比(%)		構成比(%)			
日本	41.4%	10,065	43.4%	10,040	-25	(-0.2%)
米州	19.1%	4,634	18.3%	4,243	-391	(-8.4%)
欧州	13.0%	3,157	12.8%	2,966	-191	(-6.0%)
内、中国	12.2%	2,965	11.7%	2,713	-252	(-8.5%)
アジア他	26.5%	6,459	25.5%	5,902	-557	(-8.6%)
海外	58.6%	14,250	56.6%	13,111	-1,139	(-8.0%)
合計	100.0%	24,315	100.0%	23,151	-1,164	(-4.8%)

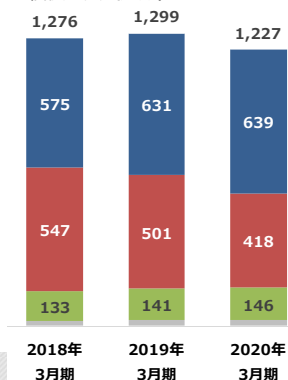
25

設備投資、減価償却費

設備投資 (通期)



減価償却費 (通期)



(単位：億円)

年度	4Q			通期		
	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
ヘルスケア&マテリアルズ	154	205	170	427	505	582
ドキュメント	19	38	57	138	117	134
イメージング	32	39	38	94	106	125
コーポレート	7	7	5	16	26	16
設備投資 ※	212	289	270	675	754	857
ヘルスケア&マテリアルズ	147	175	165	575	631	639
ドキュメント	138	124	100	547	501	418
イメージング	35	35	38	133	141	146
コーポレート	3	9	6	21	26	24
減価償却費	323	343	309	1,276	1,299	1,227
有形固定資産の減価償却費 ※	171	200	174	665	709	686

■ ヘルスケア&マテリアルズソリューション
■ ドキュメントソリューション
■ イメージングソリューション
■ コーポレート

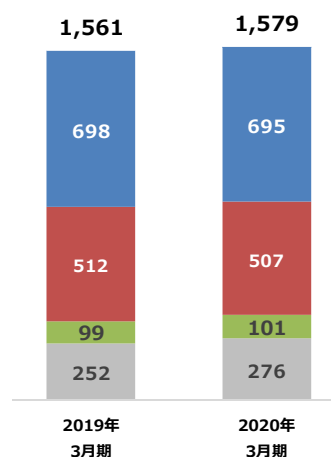
※ ドキュメントソリューション部門等のレンタル資産を除く。

26

研究開発費、販売費及び一般管理費

研究開発費（通期）

（単位：億円）



■ ヘルスケア&マテリアルズソリューション
 ■ ドキュメントソリューション
 ■ イメージングソリューション
 ■ コーポレート

年度	4Q		通期	
	2019年3月期	2020年3月期	2019年3月期	2020年3月期
ヘルスケア&マテリアルズ	189	181	698	695
ドキュメント	120	123	512	507
イメージング	27	22	99	101
コーポレート	67	73	252	276
研究開発費	403	399	1,561	1,579
<売上高比>	6.4%	6.8%	6.4%	6.8%
販売費及び一般管理費	1,513	1,565	6,316	6,100
<売上高比>	24.0%	26.6%	26.0%	26.3%

27

為替、原材料価格、人員

為替

（単位：円）

	2019年3月期					2020年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
米ドル	109	111	113	110	111	110	107	109	109	109
ユーロ	130	130	129	125	128	123	119	120	120	121

原材料価格（平均）

（単位：千円/kg）

	2019年3月期					2020年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
銀	58	54	53	55	55	53	57	60	61	57

人員

（単位：人）

	2019.3末	2019.6末	2019.9末	2019.12末	2020.3末
連結	72,332	72,358	72,842	73,092	73,906

28

パイプライン (2020年5月22日時点)

開発番号	薬効・適応症	剤形	地域	開発段階
T-705	抗インフルエンザウイルス薬	経口	日本	承認済み
			米国	Ph III
	抗新型コロナウイルス (COVID-19) 薬		日本	Ph III
			米国	Ph II
T-3811	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 治療薬	経口	中国	承認済み
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療薬	経口	米国	Ph II
			日本	Ph II
	脳卒中後のリハビリテーション効果促進薬		日本	Ph II
T-4288	新規フルオロケトライド系抗菌薬	経口	日本	承認申請中
FF-10501	骨髄異形成症候群治療薬	経口	日本	Ph I
FF-10502	進行・再発固形がん治療薬	注射	米国	Ph II
FF-21101	進行・再発固形がん治療薬 (Armed抗体)	注射	米国	Ph I / II a
			日本	Ph I
F-1311	前立腺がん診断薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph II
FF-10101	急性骨髄性白血病治療薬	経口	米国	Ph I
F-1515	神経内分泌腫瘍治療薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph I / II
FF-10832	進行性固形がん治療薬 (ゲムシタピンリボソーム)	注射	米国	Ph I
FF-10850	進行性固形がん治療薬 (トポテカンリボソーム)	注射	米国	Ph I
F-1614	難治性褐色細胞腫治療薬 (放射性医薬品)	注射	日本	Ph II

29

参考情報

富士フイルムホールディングス 株主・投資家情報

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors.html>

富士フイルムホールディングス 統合報告書2019

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/integrated-report.html>

IR資料室

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials.html>

富士フイルムってどんな会社？

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/individual.html>

グローバルブランディングキャンペーン「NEVER STOP」

<https://brand.fujifilm.com/neverstop/jp>

新型コロナウイルス感染症への取り組み

<https://brand.fujifilm.com/covid19/jp/>

30

FUJIFILM

Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を拡げるチカラになるために。

富士フィルム ホールディングス株式会社

経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

<https://holdings.fujifilm.com/ja>